【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公表番号】特表2020-520937(P2020-520937A)
【公表日】令和2年7月16日(2020.7.16)
【年通号数】公開・登録公報2020-028
【出願番号】特願2019-563864(P2019-563864)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　35/14　　(2015.01)
Ａ６１Ｐ　 7/08　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/02　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 1/16　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　13/12　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　35/14　　Ｚ
Ａ６１Ｐ　 7/08
Ａ６１Ｋ　35/14　　Ａ
Ａ６１Ｐ　 9/02
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　 1/16
Ａ６１Ｐ　 9/00
Ａ６１Ｐ　13/12

【手続補正書】
【提出日】令和3年5月17日(2021.5.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
治療が必要な出血性外傷対象における臓器損損のリスクを低減する治療に使用するための酸素低減保存血液であって、前記酸素低減保存血液の酸素飽和度が、保存期間中に保存する前の酸素飽和度と比較して低減されており、前記臓器損傷のリスクが従来型の保存血液を投与された患者と比較して低減されている、前記酸素低減保存血液。
【請求項２】
前記臓器損傷が、肝臓傷害、肺不全、腎不全、及び心不全からなる群から選ばれる請求項１に記載の酸素低減保存血液。
【請求項３】
前記治療が必要な出血性外傷対象が、投与前に、上昇した乳酸値を示している、請求項１に記載の酸素低減保存血液。
【請求項４】
前記治療が必要な出血性外傷対象が、投与前に、上昇した尿中好中球ゼラチナーゼ関連リポカリン（ｕ－ＮＧＡＬ）を示している、請求項１に記載の酸素低減保存血液。
【請求項５】
前記治療が必要な出血性外傷対象が、投与前に、減少したヘマトクリットを示している

、請求項１に記載の酸素低減保存血液。
【請求項６】
前記酸素低減保存血液の保存期間前の酸素飽和度が２０％以下に低減されている、請求項１に記載の酸素低減保存血液。
【請求項７】
前記酸素低減保存血液の保存期間中の酸素飽和度が２０％以下である、請求項１に記載の酸素低減保存血液。
【請求項８】
前記保存期間が最長４２日間である、請求項１に記載の酸素低減保存血液。
【請求項９】
前記上昇した乳酸値が、従来型の保存血液を投与された患者と比較して、投与後に少なくとも１０％減少している、請求項３に記載の酸素低減保存血液。
【請求項１０】
前記上昇した尿中好中球ゼラチナーゼ関連リポカリン（ｕ－ＮＧＡＬ）値が、従来型の保存血液を投与された患者と比較して、投与後に少なくとも１０％減少している、請求項４に記載の酸素低減保存血液。
【請求項１１】
前記減少したヘマトクリットが、従来型の保存血液を投与された患者と比較して、投与後に増加している、請求項５に記載の酸素低減保存血液。
【請求項１２】
出血性外傷対象に酸素低減保存血液を投与することを含む治療が必要な出血性外傷を有する対象の乳酸値を低下させる治療に使用するための、保存期間中に保存する前に酸素飽和度が低減されている酸素低減保存血液であって、
前記対象が、投与前に出血性ショックを示す上昇した乳酸値を示しており、かつ
前記乳酸値が、投与後に低下する、前記酸素低減保存血液。
【請求項１３】
前記治療が必要な出血性外傷対象が、肝臓傷害、肺不全、腎不全、及び心不全からなる群から選ばれる臓器損傷の発症のリスクがある、請求項１２に記載の酸素低減保存血液。
【請求項１４】
前記治療が必要な出血性外傷対象がさらに、投与前に、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ（ＡＳＴ）およびアラニンアミノトランスフェラーゼ（ＡＬＴ）、またはそれらの組み合わせからなる群から選択される肝酵素の上昇した値を示している、請求項１又は１２に記載の酸素低減保存血液。
【請求項１５】
前記治療が必要な出血性外傷対象が、投与前に、２００ｍｇ／ｄＬを超えるグルコースレベルを有する、請求項１～１１又は１２～１４のいずれか１項に記載の酸素低減保存血液。
【請求項１６】
前記治療が必要な出血性外傷対象が、投与前に、低い平均動脈圧を示している、請求項１～１１又は１２～１５のいずれか１項に記載の酸素低減保存血液。
【請求項１７】
前記治療が必要な出血性外傷対象が、投与前に、血清クレアチニンおよび血中尿素窒素（ＢＵＮ）からなる群から選択される腎酵素の上昇した値を示している、請求項１～１１又は１２～１６のいずれか１項に記載の酸素低減保存血液。
【請求項１８】
前記治療が必要な出血性外傷対象が、投与前に、ＣＸＣＬ１、尿中好中球ゼラチナーゼ関連リポカリン（ｕ－ＮＧＡＬ）、インターロイキン－６（ＩＬ－６）、及び好中球からなる群から選択される炎症性因子の上昇した値を示している、請求項１２に記載の酸素低減保存血液。
【請求項１９】

前記酸素低減保存血液の酸素飽和（SO_2）度が２０％以下である、請求項１２～１８のいずれか１項に記載の酸素低減保存血液。
【請求項２０】
前記酸素低減保存血液は二酸化炭素もまた低減されている、請求項１～１１又は１２～１９のいずれか１項に記載の酸素低減保存血液。
【請求項２１】
前記酸素低減保存血液の酸素飽和度が２０％以下であり、前記保存期間が最長４２日である、請求項１２～２０のいずれか１項に記載の酸素低減保存血液。
【請求項２２】
前記治療が必要な出血性外傷対象が、手術、穿通性創傷、鈍器外傷、転倒による損傷、および交通事故による損傷からなる群から選択される外傷を有する、請求項１２に記載の酸素低減保存血液。
【請求項２３】
投与後、乳酸値が０．５～２．５ｍｍｏｌ／Ｌに低下し、前記出血性ショックが回復する、請求項１２に記載の酸素低減保存血液。
【請求項２４】
前記乳酸値が、投与後に１０～９０％減少している、請求項１２に記載の酸素低減保存血液。
【請求項２５】
前記乳酸値が、投与後に少なくとも２０％減少している、請求項１２に記載の酸素低減保存血液。
【請求項２６】
前記対象の低い平均動脈圧が、投与後、従来型の保存血液を投与された患者と比較して上昇している、請求項１６に記載の酸素低減保存血液。
【請求項２７】
前記ＡＳＴまたはＡＬＴの上昇値が、投与後、従来型の保存血液を投与された患者と比較して、少なくとも５％減少している、請求項１４に記載の酸素低減保存血液。
【請求項２８】
前記増加したｕ－ＮＧＡＬのレベルは、投与後、従来型の保存血液を投与された患者と比較して、少なくとも５％減少している、請求項２７に記載の酸素低減保存血液。
【請求項２９】
前記対象の血清クレアチニン値または血中尿素窒素（ＢＵＮ）値が、投与後、従来型の保存血液を投与された患者と比較して、少なくとも５％低下している、請求項１７に記載の酸素低減保存血液。
【請求項３０】
前記グルコースレベルが、投与後、従来型の保存血液を投与された患者と比較して、少なくとも１０％低下している、請求項１５に記載の酸素低減保存血液。